

令和5年度 瑞浪市議会
議会運営委員会 行政視察報告書

開催日 令和5年7月24日（月）・25日（火）

視察地 埼玉県戸田市・茨城県取手市



報告者 瑞浪市議会 議会運営委員会

委員長 榛葉 利広

目 次

視察の目的・日時と行程	1
戸田市視察報告【1日目】	4
戸田市視察資料（議会モニター制度）	6
// （年間活動テーマについて）	16
取手市視察報告【2日目】	33
取手市視察資料（オンライン会議）	36
// （議会における住民参画）	47

令和5年8月3日第11回議会運営委員会

「視察にかかる議員間討議」	58
～戸田市議会、取手市議会を視察して～	

●視察日時

令和5年7月24日（月）～25日（火）

●視察地

埼玉県戸田市（議会モニター制度について）

茨城県取手市（委員会のオンライン開催について）

●参加の目的

令和5年度議長諮問事項の議会モニター制度や委員会のオンライン開催について、感染症の蔓延、大規模災害、育児や介護などを理由として出席できなかった議員が委員会へ出席できるメリットがある。また、多様な働き方の中で、議員のなり手不足解消の一助となることから、先進地に学び、その手法を学ぶため。

●視察項目

【7月24日 埼玉県戸田市】

1. 議会モニター制度について

- ①議会モニターの選出方法と意見交換の実施状況
- ②モニター意見への対応状況や成果

2. 委員会活動について

- ①委員会での年間活動テーマの設定と実施状況
- ②委員会が実施する懇談会の実施状況と成果
- ③委員会の政策提言の提出状況と成果

【7月25日 茨城県取手市】

3. デモテック戦略について

- ①委員会及び本会議（模擬）のオンラインによる開催状況と成果
- ②オンライン開催に伴う条例や会議規則の改正、規程や申し合わせ事項の整備状況
- ③本会議や委員会における音声認識技術の活用状況

4. 議会における住民参画について

- ①委員会における傍聴人等の発言実績と成果
- ②議会への住民参画の取り組みと実績

●視察者：瑞浪市議会 議会運営委員会

委員長 榛葉利広・副委員長 渡邊康弘

柴田増三・熊谷隆男・成瀬徳夫・三輪田幸泰・辻正之

議長 加藤輔之・副議長 柴田幸一郎

随行 議会事務局総務課課長

●視察行程

【1日目】

期 日	時 間	行 程	備 考
7月24日 (月)	7:30	瑞浪駅改札前 集合	
	7:43	瑞浪駅 発	
	↓	J R 中央本線 快速 名古屋行	8:42 名古屋駅着
	↓	新幹線 のぞみ214号 東京行	8:57 名古屋駅発 10:33 東京駅着
	↓	J R 京浜東北線 快速 南浦和行	10:47 東京駅発 11:08 赤羽駅着
	↓	J R 埼京線 普通 武蔵浦和行	11:21 赤羽駅発
	11:30	戸田駅 着	
	↓	・・・徒歩orタクシー・・・	
	11:40	【昼食】	◆ 松栄庵（蕎麦処）
	↓		戸田市上戸田1-20-13
	12:40		TEL 048-444-8888
	↓	・・・徒歩・・・	
	12:45	戸田市役所 着	
	13:00	【視察】	戸田市議会
	↓	戸田市役所	① 議会モニター制度について
	15:00	戸田市上戸田1-18-1	② 委員会活動について
	15:10	戸田市役所 発	
	↓	・・・徒歩orタクシー・・・	
	15:20	戸田駅 着	
	15:36	戸田駅 発	
	↓	J R 埼京線 普通 新宿行	15:46 赤羽駅着
	↓	J R 京浜東北線 普通 桜木町行	15:53 赤羽駅発 16:07 日暮里駅着
	↓	J R 常磐線 特別快速 土浦行	16:14 日暮里駅発
	16:44	取手駅 着	
	↓	・・・徒歩・・・	
	17:00	【ホテル】	◆ 東横 I N N 取手駅東口
			取手市取手3-4-18
			TEL 0297-70-1045
	↓	・・・徒歩・・・	
	18:00	【夕食】	◆ 福和内（居酒屋）
			取手市新町2-2-8
			TEL 050-5890-7089

【2日目】

期 日	時 間	行 程	備 考
7月25日 (火)	9:40 ↓ 9:50	ホテル 発 ・・・取手市様公用車・・・ 取手市役所 着	
	10:00 ↓ 12:00	【視察】 取手市役所 取手市寺田5139	取手市議会 ① デモテック戦略について ② 議会における住民参画について
	12:10 ↓ 12:15 ↓ 12:25 ↓ 13:25 ↓ 13:35	取手市役所 発 ・・・取手市様公用車・・・ 取手駅 着 ・・・徒歩・・・ 【昼食】 ・・・徒歩・・・ 取手駅 着	◆ 味蔵（和食） 取手市取手2-10-15 TEL 0297-73-0710
	13:59 ↓ ↓ ↓ 17:57 18:00	取手駅 発 J R常磐線 普通 品川行 新幹線 のぞみ45号 博多行 J R中央本線 快速 中津川行 瑞浪駅 着 瑞浪駅 解散	14:49 東京駅着 15:12 東京駅発 16:48 名古屋駅着 17:07 名古屋駅発

●視察内容

【1日目】7月24日（月）埼玉県戸田市



1. 議会モニター制度について

議会モニター導入の経緯	平成 2 年に市民から要望、提言その他の意見を広く聴取し、「市議会の円滑かつ民主的な運営の推進」を目的に議会モニター制度を開始した。当初は議会報告会も検討されたが、議会報告会のかわりとして議会モニター制度を実施することに至った。
議会モニターの選出方法と意見交換の実施状況	11 月から 12 月に翌 2 月初旬から 1 年間の任期で 15 名(定員)公募している。毎年 5 名程度の応募があり、2 月に委嘱書を交付する。議会モニターから、本会議、委員会等の傍聴により議会運営に関する意見をいただくほか、年に 2 回意見交換を実施している。 ※無報酬だが謝礼として図書カード 1 万円分を進呈。
モニターからの意見・提言への対応と成果	毎年、議会モニターから出されたすべての意見に対して、議会で検討した結果を回答している。令和 4 年度は 12 件の意見、提言があった。これまでに、市議会だよりの左開きへの変更や記事内容の変更、市議会議場録画の放映時間の表示など、意見が反映され改善されている。

*詳細は添付資料参照

2. 委員会活動について

委員会での年間活動テーマの設定と実施状況	毎年 2 月に各委員会にて1年間の活動テーマを決定し、テーマに対する年間活動計画を策定し、3 月定例会で委員長報告が行われる。原則毎月 1 回以上の委員会を開催し、1 年かけて現状把握や調査研究を行うとともに、テーマに則した市内及び先進市の視察を行い検証する。最終的に政策立案・政策提言としてまとめ、翌年 1 月に各委員会から執行部に提出している。
委員会が実施する懇談会の実施状況と成果	懇談会は議会または、委員会が必要と判断した場合に開催する。令和 3 年は 2 委員会が、令和 4 年と令和 5 年は、1 委員会ずつが開催している。 関係団体や市民から生の声を聴くことが重要として、懇談会で把握した課題・要望が、提言書に反映されている。
委員会の政策提言の提出状況と成果	平成 21 年 2 月から年間活動テーマを導入し、毎年各委員会からテーマに対する提言書・要望書・意見書等が作成され、執行部(担当部長に対して)に提出されている。その後の検証は議会が追いかけていく形であり、委員会の代表質問等を行う場合もある。

* 詳細は添付資料参照

【 考 察 】

戸田市の規模や状況を鑑みて議会報告会の開催ではなく「議会モニター制度」を導入している。

モニター経験者が議員に挑戦した事例はなく、議員の担い手不足解消に繋がっているとは言えないとのことであった。瑞浪市では、モニター制度導入より、議会報告会や懇談会をより積極的に実施すべきではないかと感じる内容だった。



委員会活動においては戸田市議会が委員会に重きを置いていることが感じられ、参考すべき点が非常に多かった。委員会構成後すぐに、年間活動テーマを定め、年間活動計画を策定し、調査研究が重ねられている。テーマについて、各種関係団体や市民との懇談会、先進地視察を実施したうえでまとめられた政策立案・政策提案書は、委員会の質の向上に寄与する内容であった。また議会の監視機能や主体性が高まり、議員間討議、議会の活性化に繋がっている。



岐阜県瑞浪市議会 議会運営委員会 様

「議会モニター制度について」



令和5年7月24日(月)
戸田市議会事務局



1

1 議会モニター制度について

(1) 導入の経緯

戸田市議会では、議会改革特別委員会において、平成21年に「市民への情報提供・市民との意見交換」について協議を進め、開かれた議会に向けての方策を検討した際に、『議会報告会』の実施について検討を行った。

【検討結果】

- ・市域が約18平方キロメートルと狭く、傍聴を希望の方が比較的容易に傍聴できる環境にある。
- ・議会への関心が低い状況での議会報告会の実施は時期尚早である。



議会報告会の実施は見送ることとなり、議会報告会に代わる形で平成23年4月に『議会モニター制度』を導入した。

(3) 議会モニターの職務（要綱第3条）

- 3

(3) 議会モニターの職務（運用基準1） 2

31. 8/1/02

氏名	
住所	
職業	
備考	

- ①会議運営に関する事
- ②とだ議会だよりに関する事
- ③市議会ホームページに関する事
- ④その他

(4) 提出された提言等の処理（要綱第4条・運用基準2）

議会モニターから提言等が提出されたときは、議長は必要に応じて関係する会議に当該提言等を送付し、当該会議において検討させるものとする。



運用基準の2において、議会運営委員会に報告し、その取り扱いを協議することと規程しており、議会運営委員会報告後、後日、各会派から意見を提出いただき、各意見を調整の上、回答を作成する。



提出された意見とその回答については、後日、提出者に通知するとともに、市議会ホームページに掲載。

(5) 議会モニター応募の資格（要綱第5条）

次に掲げる要件を全て満たす者

- (1)年齢満18歳以上の市民※（公務員、議員、各種行政委員を除く）
- (2)市議会の仕組み及び運営に関心があること
- (3)市政、地域社会の発展に関心を持ち、公正な社会的見識を有する者

【※市民の定義】

「戸田市自治基本条例」において、市民の定義を市内在住者以外にも在勤・在学者を含んでいることから、議会モニター募集についても『市内在住・在勤・在学』としている。

(6) 定員及び委嘱 (要綱第7条・運用基準3) 1

- ・ 定員・・・15人以内
- ・ 募集方法・・・公募
- ・ 応募方法・・・

議会モニター応募票により応募 (応募理由、自己アピール等)

- ・ 募集期間・・・
11月上旬～12月下旬頃
- ・ 周知方法・・・

議会ホームページ、議会だより、公共施設・店舗へポスター掲示
いいとだメール など

(6) 定員及び委嘱 (要綱第7条・運用基準3) 2

ポスター

戸田市議会モニターを募集します!

内容
議会運営等について、市民の意見から意見を幅広くお聞きします。
本会議や委員会を開催したり、議会だよりや市議会ホームページを公開の上、ご意見をいただきます。

任期 本選後2期まで
令和5年2月6日(月)から1年間
※期満として
議決カードを返送します。

応募資格
1 5歳以上の市内在住・在勤・在学
(出生地・国籍は問いません)
で、議会の仕組みとその運営、市民や地域社会の発展に関心のある方。
※議会運営や委員会等なるもの、
「議会だより」に掲載いたします。

募集人員
15人

応募方法
希望者等により決定します。
結果は応募者全員に通知します。

お申し込み 締切期日 令和5年12月23日(金)まで (郵送)
応募書に住所、氏名、年齢、職業、応募理由、自己アピールなどを記入の上、
郵送、またはメール(住所、氏名、年齢、職業、応募理由、自己アピール)で送付。
または議会事務局へご送付ください。
※応募書は郵送で送付し、または市議会ホームページからダウンロードし、
お申し込みください。

お問い合わせ 市議会事務局 市民生活課
048-441-1800 (内線924)

応募票

票番号様式 年 月 日

戸田市議会モニター応募票

フリガナ	性別	年齢
氏 名		
住 所		
連絡先電話番号	()	
職 業		
勤務先 通字先	所在地	※戸田市に居住していない方に記入ください。
名 称		
1. 応募理由		
2. 自己アピール		

※知り得た個人情報は戸田市議会モニターの応募事務以外に使用しません。
※1.、2. について、字数が多し場合は別紙を添付してください。

裏面 3. 自由意見も必ず記入してください。

受 付 日	受付確認
年 月 日	

(6) 定員及び委嘱(要綱第7条・運用基準3)

3

- ・議会運営委員会において、応募動機などを参考に書類選考を行い、議会モニターを決定する。
- ・選考結果は応募者全員に文書で通知する

(7) 任期(要綱第8条)

- ・任期は1年(再任は可であるが、連続して2期まで)
【任期は例年2月6日から翌年2月5日まで(議員の任期同じ日)】

(8) 報酬(要綱第10条・運用基準5)

- ・無報酬(ただし、謝礼として図書カード(10,000円分))

(9) これまでの応募状況

年	応募人数	内訳	採用結果
平成24年	6人	20代1人、30代2人、50代2人、60代1人	全員採用
平成25年	5人	30代1人、50代2人、60代2人、70代1人	全員採用
平成26年	6人	20代1人、40代1人、60代3人、70代1人	全員採用
平成27年	5人	40代1人、60代4人	全員採用
平成28年	2人	60代2人	全員採用
平成29年	4人	30代1人、40代1人、60代2人	全員採用
平成30年	5人	20代1人、60代4人	全員採用
平成31年 ／令和元年	5人	30代1人、40代1人、60代2人、80代1人	全員採用
令和2年	5人	30代1人、60代2人、70代2人	全員採用
令和3年	4人	50代2人、60代1人、70代1人	全員採用
令和4年	6人	50代3人、60代2人、70代1人	全員採用

- ・定員15人に対して応募が少ない状況 全員採用
- ・50代以上の応募が多い

(10) 1年間の流れ 1

- ・ 11月～12月
募集期間（議会ホームページ、議会だよりなど）
- ・ 1月
選考・決定（議会運営委員会にて）
- ・ 2月
委嘱状交付式（自己紹介、議長から委嘱状を交付、活動内容の説明）
- ・ 6月／12月
議会モニターと議員との意見交換会
- ・ 通年
本会議・委員会等を傍聴し、議会運営に関する意見提出

(10) 1年間の流れ 2

【委嘱状交付式（2月）】

- ・ 議会モニター顔合わせ
- ・ 議長から委嘱状の交付
- ・ 事務局から活動内容の説明



【意見交換会（年2回開催）】

- ・ 6月、12月定例会開会までに提出された意見について意見交換
- ・ 出席は正副議長、議会運営委員長、議会改革特別委員長、議会広報委員長



(11) 議会モニターの意見・提言により改善した事項 1

年	意見・提言	検討結果
平成24年	「とだ議会だより」に紙面を確保して、市民に常任委員会の活動を公開する。	議会だよりに常任委員会の年間活動成果を掲載した。
	傍聴券に「市民憲章」を記載することにより、傍聴者もともに市民憲章を確認することができ、戸田市民としての再認識が図れる。	本会議の傍聴券の裏に「市民憲章」を掲載した。
	各委員会における傍聴人への遵守事項の告知を省略してほしい。	傍聴前に議会事務局より傍聴に関する遵守事項を記した傍聴券を渡すことで、了解を得る形に改めた。

(11) 議会モニターの意見・提言により改善した事項 2

年	意見・提言	検討結果
平成25年	議会活動をもっと知ってもらい、市民との距離を縮めるため、議会だより「議会Q & A」として質問コーナーを設け、議会の仕組み、地位、権限、運営などについて、わかりやすく簡潔に説明してはどうか。	議会だより(平成25年6月定例会号)から、議会や議員の活動について疑問に答える「議会を知っ tocco～聞きたい知りたい議会のしごと～」の連載をスタートした。
平成29年	市議会のホームページの「戸田市議会議場録画放映一覧表」に、動画の再生時間を明記してもらいたい。	平成30年3月2日以降の本会議の録画放映分から、再生時間を明記するようにした。
令和3年	議会だよりを市の広報紙と同様に「左開き」とした方が見やすく、ファイルしやすいため、検討してはどうか。	議会広報委員会で協議し、令和4年3月定例会号から「右開き・縦書き」を「左開き・横書き」に変更した。

(12) これまでの課題

①議会運営に関すること以外の意見が多い

(現状)「市民にとって分かりやすくなる」「議会をより良いものにする」ための意見を提出してもらうことが趣旨であるが、一般質問の内容や市の施策に関する意見が多い。

【原因は？】

- ・説明不足？
- ・議会運営より一般質問や市の施策の方が身近に関心が高い？

(13) あらたな試み

①意見交換会の手法を見直し

○令和5年6月に実施した、意見交換会からグループワーク形式に変更。

○議会モニター設置要綱 第3条第3号

「議長が依頼した市議会の運営に関する調査事項に回答すること。」

- ・服装の自由化について市民の視点からみた自由化について
- ・一般質問の持ち時間について



ご清聴ありがとうございました。



戸田市議会モニター を募集します！

あなたの声を
聴かせてください！



意見交換会



内容

議会運営等について、市民の皆様からの意見を幅広くお聴きします。

本会議や委員会を傍聴したり、議会だよりや議会ホームページをご覧の上、ご意見をいただきます。



応募資格

18歳以上の市内在住・在勤・在学者
(公務員・各種議会議員・各種行政委員は除く)
で、議会の仕組みとその運営、市政や
地域社会の発展に関心のある方。

※集合写真や会議の様子などを、
「議会だより」に掲載いたします。



募集人員

15人



任期 ※連続2期まで

令和5年2月6日(月)から1年間

※謝礼として
図書カードを進呈します。



選考方法

書類選考等により決定します。
結果は応募者全員に通知します。

お申し込み

※募集締切：令和4年12月23日(金)まで(必着)

応募票に住所、氏名、年齢、職業、応募理由、自己アピールなどを記入の上、
郵送、FAX(048-433-2212)、電子メール(gikaijimu@city.toda.saitama.jp)、
または議会事務局へご提出ください。

※応募票は議会事務局窓口で配布、または市議会ホームページからダウンロード可。

お問い合わせ

戸田市議会事務局(市役所6階)
048-441-1800(内線524)



市議会ホームページ



岐阜県瑞浪市議会 議会運営委員会 様

「年間活動テーマについて」



令和5年7月24日(月)
戸田市議会事務局



1

2 年間活動テーマについて

(1) 導入の経緯

戸田市議会では、平成15年2月に議会改革特別委員会を設置し、議会が担うべき機能の充実に向け、取り組みを進めることになった。

【この頃の委員会活動は・・・】

- ・委員会活動は、執行部が提案した議案を審査したり、報告を受けたりといった、いわば受け身の状態であった。
- ・議員間討議もなく、委員会から執行部に働きかけることも少なく、閉会中の開催は少ない状況であった。

【この頃の時代背景は・・・】

- ・平成12年4月1日に地方分権一括法が施行され、国・都道府県・市区町村の関係が上下主従の関係から対等協力の関係に。
- ⇒市区町村の裁量が増え、議会として行政に対する監視機能や政策提言機能の強化が求められていた。

月回の委員会

2 年間活動テーマについて

(1) 導入の経緯②

【市民の声は・・・】

会期以外では、議員がどのような活動をしているかよくわからない。



どうすれば、実際にどのようにすれば議会を活性化させ、機能強化が図れるのか？！



平成20年7月、各委員会が年間活動計画を定めて活発に活動している「北海道登別市議会」に視察！！



平成21年2月から、年間活動テーマを導入

2 年間活動テーマについて

(1) 導入の経緯③

【年間活動テーマ導入後の委員会は】

ほとんど受け身の状態だったものが・・・

- ・ 議会の監視機能や主体性が高まる
- ・ 閉会中も原則月1回委員会を開催することにより、報告の機会が増える
- ・ 議員間討議が活発化
- ・ 執行部に対する提言

⇒年間活動テーマの取組は現在も継続している。

2 年間活動テーマについて

(2) テーマの進め方①

月	内 容
2月	戸田市議会は2月が改選の時期
3月	改選後、 <u>テーマの案を出し合い、決定。3月定例会で委員長報告</u>
4月	執行部にヒアリングを行うなど現状確認・課題抽出
5月	先進自治体を視察し、本市で生かせることはないか検証
6月	・議会懇談会 ・参考人制度 ・市内視察 など、 引き続き、情報収集や調査研究を進める
7月	
8月	
9月	
10月	先進自治体を視察し、本市で生かせることはないか検証
11月	提言書（案）の作成
12月	
1月	執行部に提言書を提出

2 年間活動テーマについて

(2) テーマの進め方②

【平成24年2月：戸田市議会基本条例制定】

「常任委員会は、年間活動テーマを設定し、閉会中においても所管事務調査を実施するとともに、積極的に政策提言を行うよう努めるものとする」と定めており、常任委員会における調査研究の成果としての提言書等の政策提言を担保。



【令和4年2月：戸田市議会基本条例の一部改正】

令和4年2月には議会基本条例を見直し、「政策提言」に加え、「政策立案」も積極的に行うよう条例改正。

2 年間活動テーマについて

(3) これまでのテーマ①

年	委員会	年間活動テーマ	成果
30	総務	市役所業務におけるICT化について	市役所業務におけるICT化に関する提言書
	文教・建設	小中学校の改築等施設整備について	
		コミュニティスクールについて	戸田市コミュニティ・スクール推進に向けた提言書
	健康福祉	共生社会の実現に向けた子育て支援施策について	共生社会の実現に向けた子育て支援施策について
	市民生活	自転車のまちづくりについて	ルールを守り快適な自転車のまちづくりに向けた提言書
		保養所のあり方について	

2 年間活動テーマについて

(3) これまでのテーマ②

年	委員会	年間活動テーマ	成果
31 R1	総務	外郭団体への関与のあり方等について	外郭団体への関与のあり方等についての提言書
		年間活動テーマの検証について	市役所庁舎の有効利用に関する提言書
	文教・建設	空き家対策について	空き家対策についての提言書
	健康福祉	とだ版ネウボラの開設について	とだ版ネウボラ構築に向けた提言書
	市民生活	特殊詐欺対策について	絶対に騙されない！特殊詐欺対策に向けた提言書

2 年間活動テーマについて

(3) これまでのテーマ③

年	委員会	年間活動テーマ	成果
R 2	総務	危機管理の強化について	避難所における防災備蓄及び感染症対策に関する要望書
	文教・建設	教育現場の課題解決に向けて ～児童・生徒と向き合うために～	調査報告書
	健康福祉	新型コロナウイルス感染症の現状と今後について	コロナ禍における各施設に対する支援を求める要望書
	市民生活	新型コロナウイルス対策	新型コロナウイルスから地域経済を守るための要望書

2 年間活動テーマについて

(3) これまでのテーマ④

年	委員会	年間活動テーマ	成果
R 3	総務	デジタル市役所の推進について	「誰一人取り残さない人にやさしいデジタル化」の実現に向けた要望書
		市役所業務におけるＩＣＴ化に関する提言書の検証について	市役所業務におけるＩＣＴ化に関する提言書検証結果報告書
	文教・建設	教育環境の現状と今後の課題について	中央図書館・郷土博物館及びＩＣＴ教育に関する要望書
		都市整備の現状と今後の課題について	自転車通行空間及び土地区画整理事業に関する要望書
	健康福祉	ウィズコロナ・ポストコロナ対策について	ウィズコロナ・ポストコロナ対策についての調査・要望 コロナ禍における各施設に対する支援を求める要望書
	市民生活	コロナ禍における市民活動の在り方について	コロナ禍における市民活動団体に対する支援を求める要望書
		戸田市スポーツセンターの在り方について	戸田市スポーツセンターの建て替えを含めた再検討を求める意見書

2 年間活動テーマについて

(3) これまでのテーマ⑤

年	委員会	年間活動テーマ	成果
R 4	総務	公共施設等の現状と今後の対応について	提言書を執行部へ提出
	文教・建設	自転車によるまちづくりについて	提言書を執行部へ提出
		中学校での評価・指導の在り方について	調査結果報告書を執行部へ提出
	健康福祉	SDGsの理念を生かした新しい生活について	提言書を執行部へ提出
	市民生活	脱炭素社会の実現に向けて	提言書を執行部へ提出

2 年間活動テーマについて

(4) 年間活動テーマの協議経過（例）①

令和元年度「戸田版ネウボラの開設について」

【4月】

委員会①：「ネウボラ」について、執行部へヒアリング

市内視察：市内福祉保健センターへ視察

委員会②：市内視察の検証

【5月】

先進地視察：福島県伊達市「伊達市版ネウボラについて」

福島県いわき市「いわき版ネウボラについて」

委員会：先進地視察の検証

1人97 意見20へて 協議間 可決

2 年間活動テーマについて

(5) 年間活動テーマの協議経過（例）②

令和元年度「戸田版ネウボラの開設について」

【6月】

委員会：今後の視察先の検討

【7月】

委員会：ネウボラについての本市の現状確認・視察先の検討

【8月】

委員会：視察先及び視察に係る調査項目等の確認

【9月】

市内施設訪問及び視察の調査事項、段取りの確認等

2 年間活動テーマについて

(5) 年間活動テーマの協議経過（例）③

令和元年度「戸田版ネウボラの開設について」

【9月（続き）】

市内視察：市内駅前子育て広場へ視察

【10月】

市内施設訪問：各子育て支援センター及び親子ふれあい広場の訪問
見学（2人1ペアで計17施設を分担して訪問）

市内視察：児童センタープリムローズへ視察

委員会：市内施設訪問報告及び視察の検証

先進地視察：埼玉県和光市「わこう版ネウボラについて」

東京都渋谷区「渋谷区子育てネウボラについて」

2 年間活動テーマについて

(5) 年間活動テーマの協議経過（例）④

令和元年度「戸田版ネウボラの開設について」

【11月】

委員会①②：先進地視察の検証、提言書作成に向けた協議

【12月】

委員会①②：提言書作成に向けた協議

【1月】

委員会①：提言書作成に向けた協議

委員会②：「とだ版ネウボラの構築に向けての提言書」
を執行部に提出

2 年間活動テーマについて

(5) 年間活動テーマの協議経過（例）⑤

令和元年度「戸田版ネウボラの開設について」

➡ 「とだ版ネウボラの構築に向けての提言書」

とだ版ネウボラ 構築に向けての 提言書



戸田市福祉センターでの
パブリックコメントの開催

健康福祉常任委員会
令和2年1月27日

とだオリジナル育児パッケージの導入

子育てに必要なグッズを、町域中に揃えることで、産後の育児のイメージをもつことができること、赤ちゃんの調子を町が把握し、地域でこれからの子育てを見守り、応援していることを伝える取組みになること、オリジナルであれば、郷土意識や市民同士の気遣いのきっかけになること、以上のことから導入を要望する。

- 戸田市に住民登録がある親子に贈呈する。その他、できる限り地区別や保護者層と家族全員の状況に合わせたこと。

- 産後、授乳、子育て、おしりふき、哺乳瓶、授乳枕、おむつ、おむつ替えシート、おむつ替えシートなど、子育てに必要なグッズを、市内外の各子育て支援センターなどに設置し、子育て支援センターで配布する。

- 二人組以降は、品が揃えるなど工夫すること。



子育て支援センター
に設置したオリジナル育児パッケージ

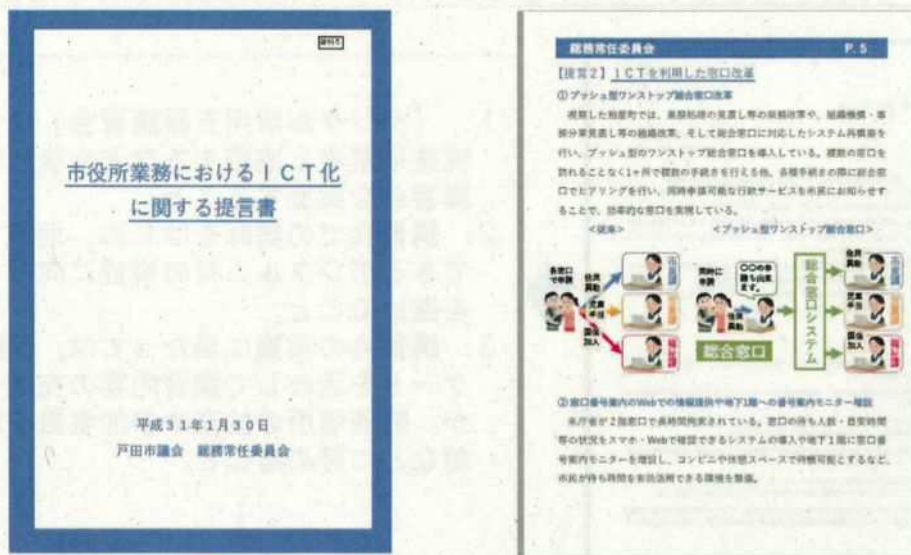


子育て支援センターでパッケージ
が配布されている様子（令和2年1月27日撮影）

2 年間活動テーマについて

(6) 年間活動テーマの協議経過（例その2）①

平成31年度「市役所におけるICT化に関する提言書」

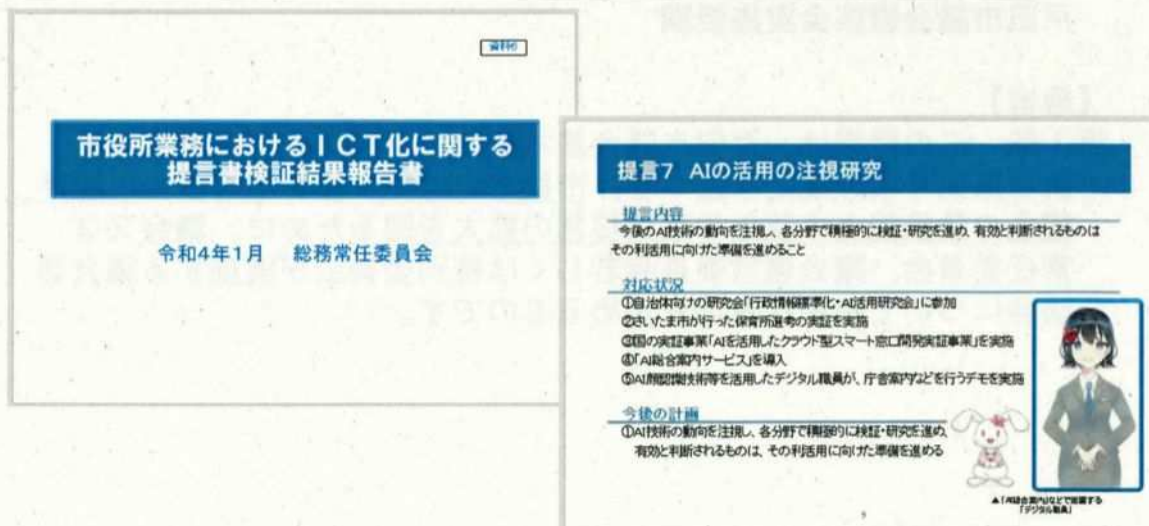


2 年間活動テーマについて

(6) 年間活動テーマの協議経過（例その2）②

令和3年度

「市役所業務におけるICT化に関する提言書検証結果報告書」



2 年間活動テーマについて

(6) 年間活動テーマの協議経過（例その2）③

「誰一人取り残さない人にやさしいデジタル化の実現に向けた要望書」



1. 「デジタル活用支援講習会」について、実施事業者と協議するなど今後も継続して講習会を実施すること。
2. 講習会での講師をはじめ、地域で活躍できるデジタル人材の育成に向けた取組を進めること。
3. 講習会の実施に当たっては、受講者アンケートを活かして講習内容の充実を図るほか、開催場所の拡充や参加者数を増やす取組などに努めること。

・・・etc

2 年間活動テーマについて

(7) 議会懇談会について①

【要綱】

戸田市議会懇談会実施要綱

【趣旨】

第1条 この要綱は、戸田市議会基本条例（平成24年条例第1号）第8条第4項の規定に基づき、市民との意見交換の場を多様に設け、議会の政策能力の強化や政策提言の拡大を図るために、議会又は常任委員会、議会運営委員会若しくは特別委員会が実施する議会懇談会について必要な事項を定めるものです。

2 年間活動テーマについて

(7) 議会懇談会について②

【過去3年間の実績】

年	委員会	年間活動テーマ	参加団体
R3	市民生活	コロナ禍における市民活動の在り方について	戸田市ボランティア・市民活動支援センター 市民活動団体
R3	健康福祉	ウィズコロナ・ポストコロナ対策について	戸田市私立保育園協会 戸田市福祉事業団
R4	文教・建設	自転車によるまちづくりについて	戸田市サイクリング連盟
R5	市民生活	町会・自治会と行政の関係について	戸田市町会連合会

2 年間活動テーマについて

(7) 議会懇談会について③

【議会懇談会の成果】

- ・ 関係団体や市民の生の声を聴くことで、日ごろの委員会活動や執行部からの報告では知ることができない課題や要望などを把握することができる。
- ・ 提言書作成に当たって、実情に即した要望事項を盛り込むことができる。

⇒市内の現状把握は大変重要

【副次的な成果】

- ・ 関係団体や市民にとっても課題や要望を市に伝えるきっかけになる。



R5 市民生活：町会連合会との議会懇談会→

2 年間活動テーマについて

(8) 戸田市議会年間活動計画

令和4年戸田市議会年間活動計画														
目 的			期 限			手 法								
1 議会活動に対する市民への説明責任 2 議会活動の「見える化」 3 政策立案・政策推進機能の発揮 4 議政改革の更なる推進			令和4年2月から令和5年1月まで			原則、毎月1回委員会を開催し、議決問題や迅速な視察等を踏まえて協議								
区分	委員会名	年間活動テーマ	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
政策立案・政策推進	総務常任委員会	公共施設等の現状と今後の対応について	テーマ設定	協議	協議・検討					協議		協議・検討	協議	まとめ
	文書・建設常任委員会	自転車によるまちづくりについて	テーマ設定	協議	協議・検討					協議		協議・検討	協議	まとめ
	小・中・高小中学校でのテストのあり方について	テーマ設定	協議	協議・検討						協議		協議・検討	協議	まとめ
	健康福祉常任委員会	SDGsの推進を促すための取組について	テーマ設定	協議	協議・検討					協議		協議・検討	協議	まとめ
	市民生活常任委員会	防災意識の向上に向けて	テーマ設定	協議	協議・検討					協議		協議・検討	協議	まとめ
議決問題	議会改革特別委員会	議会のあり方について					協議		協議・検討		協議		協議・検討	協議
		オンライン委員会に関する取組について	協議	まとめ										
		議決のあり方について					協議	まとめ						
		執行部との関係について					協議	まとめ						
		議決及び委員会等との連携強化について							協議		まとめ			
		議決等に関する取組を促進するための取組について												協議
		防災意識の向上の取組について												協議
		議員定数及び議員報酬について												協議

2 年間活動テーマについて

(9) 戸田市議会年間活動成果①

令和4年戸田市議会年間活動成果				
政策立案・政策推進：提案書5件 要望書1件 議会改革：災害時の対応強化など計5件				
区分	委員会名	年間活動テーマ等	年間活動成果	概要
政策立案・政策推進	総務常任委員会	公共施設等の現状と今後の対応について	・本年度行われる公共施設等総合管理計画の前期としての見直しに対する「公共施設等の現状と今後の対応に向けた提案」を執行部へ提出（令和5年1月）	公共施設等総合管理計画の見直しにあたり、「財政負担の軽減と平準化、公共施設等の最適な配置の実現」という目的に、以下の3つの視点を加えるよう提案。 1. 「多くの人々が使いやすい公共施設」を目指して「ニーズ」の視点を 2. 「増加する災害に備えた公共施設」を目指して「防災」の視点を 3. 「環境負荷に配慮した公共施設」を目指して「SDGs」の視点を
	文書・建設常任委員会	自転車によるまちづくりについて	・執行部からの説明、市内でのシェアサイクルの試乗及び自転車通行空間の調査、札幌市及び千葉市での先進自治体の視察、市内自転車団体との種会懇談会を基に、自転車のまちに向けた取り組み等について検討し、提案書をまとめ執行部へ提出（令和5年1月）	提案事項は以下のとおり (1)ルール・マナーの周知啓発 ①街頭啓発活動の実施 ②チラシ・ポスター・ハンドブック等の作成 ③多世代を対象とした交通安全教育等の開催 (2)自転車通行空間の整備 ①自転車通行空間の一体的な整備 (3)自転車の利用促進 ①シェアサイクルの促進 ②自転車保険等への加入促進 ③自転車用ヘルメットの着用促進 ④バックライトの促進 ⑤自転車のまちのPR ⑥自転車施策推進体制の構築
		中学校での評価・指導の在り方について	・執行部からの説明、札幌市内の公立中学校及び札幌市内の私立中学校の視察を基に、自転車のまちに向けた取り組み等について検討し、提案書をまとめ執行部へ提出（令和5年1月）	提案事項は以下のとおり (1)定期テストに変わる新たなテストの在り方について ・單元テスト等による生徒の学力向上に資する方法の検討 (2)宿題の必要性について ・生徒が自律的に学習できる支援の検討 (3)学級担任制から全員（チーム）担任制への見直しについて ・全員（チーム）担任制の検討

(9) 戸田市議会年間活動成果②

区分	委員会名	年間活動テーマ等	年間活動成果	概要
政策立案・政策提言	総務常任委員会	公共施設等の現状と今後の対応について	・来年度行われる公共施設等総合管理計画の前倒しでの見直しに対する「公共施設等の現状と今後の対応に向けた提言」を執行部へ提出（令和5年1月）	公共施設等総合管理計画の見直しにあたり、「財政負担の軽減と平準化、公共施設等の最適な配置の実現」という目的に、以下の3つの視点を加えるよう提案。 1. 「多くの人が使いやすい公共施設」を目指して「ニーズ」の視点を 2. 「増加する災害に備えた公共施設」を目指して「防災」の視点を 3. 「環境負荷に配慮した公共施設」を目指して「SDGs」の視点を

(10) 年間活動テーマの議会だよりへの掲載

令和5年戸田市議会年間活動計画

本計画では、4つの主要活動に絞って1年間のスケジュールを決定する。議会活動の多岐にわたる内容を盛り込むことは困難なため行っている。

※本計画はあくまでも大方向であり、各項目の具体的な活動内容は、令和5年12月定例会で最終的に決定・調整される予定となっている。

令和5年度
活動予定

令和5年度
活動実績

新年度議会活動の概要と主要スケジュール一覧

項目	主要活動の概要	主要スケジュール
総 務	戸田市の財政状況について (平成)における財政状況について (令和)における財政状況について	令和5年度4月定例会に「戸田市の財政状況について」を議題として取り上げ、議決を行う。
文書・情報	議事録の作成と公開の体制について	令和5年度4月定例会に「議事録の作成と公開の体制について」を議題として取り上げ、議決を行う。
健康福祉	子育て・高齢者の支援について	子育て・高齢者の支援について、令和5年度4月定例会に「子育て・高齢者の支援について」を議題として取り上げ、議決を行う。
市民生活	都市・地域活性化の推進について	都市・地域活性化の推進について、令和5年度4月定例会に「都市・地域活性化の推進について」を議題として取り上げ、議決を行う。

「令和5年度4月定例会」の議決事項について、令和5年度4月定例会に「令和5年度4月定例会の議決事項について」を議題として取り上げ、議決を行う。

「令和5年度4月定例会」の議決事項について、令和5年度4月定例会に「令和5年度4月定例会の議決事項について」を議題として取り上げ、議決を行う。

「令和5年度4月定例会」の議決事項について、令和5年度4月定例会に「令和5年度4月定例会の議決事項について」を議題として取り上げ、議決を行う。

「令和5年度4月定例会」の議決事項について、令和5年度4月定例会に「令和5年度4月定例会の議決事項について」を議題として取り上げ、議決を行う。

「令和5年度4月定例会」の議決事項について、令和5年度4月定例会に「令和5年度4月定例会の議決事項について」を議題として取り上げ、議決を行う。

「令和5年度4月定例会」の議決事項について、令和5年度4月定例会に「令和5年度4月定例会の議決事項について」を議題として取り上げ、議決を行う。

「令和5年度4月定例会」の議決事項について、令和5年度4月定例会に「令和5年度4月定例会の議決事項について」を議題として取り上げ、議決を行う。

「令和5年度4月定例会」の議決事項について、令和5年度4月定例会に「令和5年度4月定例会の議決事項について」を議題として取り上げ、議決を行う。

[illegible]

ご清聴ありがとうございました。



令和3年戸田市議会年間活動計画

資料6

目 的

- 1 議会活動に対する市民への説明責任
- 2 議会活動の「見える化」
- 3 政策立案・政策提言機能の発揮
- 4 議会改革の更なる推進

期 間

令和3年2月から令和4年1月まで

手 法

原則、毎月1回委員会を開催し、現状把握や先進地視察等を踏まえて協議

区分	委員会名	年間活動テーマ	時 期											
			2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
政策立案・政策提言	総務常任委員会	デジタル市役所の推進について	テーマ設定									視察・検証	協議	まとめ
		市役所業務におけるICT化に関する提言書の検証について	テーマ設定									視察・検証	協議	まとめ
	文教・建設常任委員会	教育環境の現状と今後の課題について	テーマ設定									視察・検証	協議	まとめ
		都市整備の現状と今後の課題について	テーマ設定									視察・検証	協議	まとめ
	健康福祉常任委員会	ウィズコロナ・ポストコロナ対策について	テーマ設定									視察・検証	協議	まとめ
	市民生活常任委員会	コロナ禍における市民活動の在り方について	テーマ設定									視察・検証	協議	まとめ
		戸田市スポーツセンターの在り方について	テーマ設定									視察・検証	協議	まとめ
	議会改革	議会改革特別委員会	議会基本条例の見直しについて											
予算決算委員会について				協議			まとめ							
会期日程について					協議				まとめ					
オンライン会議について					協議		まとめ							
議員駐車場について													協議・まとめ	
陳情の取扱について														協議
執行部の出席の在り方について														協議

※ 議会改革特別委員会のテーマについては、テーマの結論が出た時点で、適宜追加する

※ 議会改革特別委員会のテーマについては、テーマの結論が出た時点で、適宜追加する。

資料7

令和3年戸田市議会年間活動成果

政策立案・政策提言：要望書6件、意見書1件、報告書1件の計8件 議会改革：議会基本条例の見直しなど計5件

区分	委員会名	年間活動テーマ	年間活動成果	概要
政策立案・政策提言	総務常任委員会	デジタル市役所の推進について	・「誰一人取り残さない人にやさしいデジタル化」の実現に向けた要望書を執行部へ提出（令和4年1月）	要望事項は以下の6点 1. 「デジタル活用支援講習会」について、実施事業者と協議するなど今後も継続して講習会を実施すること。 2. 講習会での講師をはじめ、地域で活躍できるデジタル人材の育成に向けた取組を進めること。 3. 講習会の実施に当たっては、受講者アンケートを活かして講習内容の充実を図るほか、開催場所の拡充や参加者数を増やす取組などに努めること。 4. 地域のボランティアが行うパソコン講座や相談窓口などに対し、広報面での支援を行い、市民への周知を図ること。 5. 東京都渋谷区が実施しているスマートフォン貸与事業などを参考に、スマートフォンなどを所有していない市民に対するデジタルデバйд対策に取り組むこと。 6. デジタルデバйд対策を高齢者福祉の一環と捉え、デジタル戦略室を中心に関係部局が連携し、デジタル機器の活用による高齢者の生活の質の向上に向けて取り組むこと。
		市役所業務におけるICT化に関する提言書の検証について	・市役所業務におけるICT化に関する提言書検証結果報告書を作成（令和4年1月）	・平成31年1月に提出した「市役所業務におけるICT化に関する提言書」について、3年が経過した現在の状況と、今後の計画についてに執行部にヒアリングを行い、すべての提言内容に対して一定の進捗がみられることを確認し、今後のさらなるデジタル化に向けて以下の4点などを今後も求めていく必要があるとの共通認識を得た。 1. 部局横断的なデジタル化・DXの実現に向けた専門チームの発足 2. それを支えるデジタル人材の確保と育成に向けた取り組み 3. 個人情報をはじめ、万全の情報セキュリティ対策の実施 4. 市民目線の利用しやすいデジタル市役所の実現
	文教・建設常任委員会	教育環境の現状と今後の課題について	・中央図書館・郷土博物館及び戸田第二小学校のICT教育等の市内視察を踏まえ、「中央図書館・郷土博物館及びICT教育に対する要望書」を執行部へ提出（令和4年1月）	要望事項は以下の5点 【中央図書館・郷土博物館】 1. 図書館の託児サービスは、現在週1回と少ない状況であることから、利用者の声を聞きながら、日数や時間を増やすなど、子育て世代がより気軽に図書館を利用しやすくなるよう検討すること。 2. 平成27年1月に当委員会から提言した『また来たいと思わせる図書館に向けての提言書』の内容（例：分かりやすい館内案内、館内外の照明の充実、1階玄関ホールを人が集うコミュニティの場として活用する等）がまだ生かされていないところもあることから、内容を再確認し、指定管理者のノウハウを生かしながら、「また来たい」と思ってもらえる図書館づくりに努めること。 3. 郷土博物館は、視覚障害者への音声案内の導入など、少数派のニーズにも配慮した施設運営を検討すること。 【ICT教育】 1. 先生の話聞くことや児童・生徒同士の会話など、対面でのコミュニケーションは大変重要であることから、パソコン端末を活用しつつも、お互いが向き合う授業との両立が図られるよう研究すること。 2. 他自治体でチャットによるいじめ問題が報道されたが、パソコン端末の活用には、学校と家庭が連携しながら、児童・生徒が情報モラルを身に付け、自ら考え適切に行動できるよう指導に努めること。
		都市整備の現状と今後の課題について	・自転車通行空間及び土地区画整理事業の市内視察を踏まえ、「自転車通行空間及び土地区画整理事業に対する要望書」を執行部へ提出（令和4年1月）	要望事項は以下の5点 【自転車通行空間】 1. 車道混在型（矢羽根等路面標示）となっている自転車通行空間は幅員が狭く、危険な箇所が多いので、現地を確認した上、自転車と自動車との接触事故が発生しないよう、交通安全対策に努めること。 2. 自転車通行空間の整備は進んでいるが、逆走など交通ルールを守れていない自転車がまだ多いので、警察と連携して交通ルールやマナーの啓発に努めること。 3. 市内広域に自転車通行空間の整備が進んだ際には、市民が安全で快適に自転車を楽しめるよう「自転車通行空間マップ」を作成するなど、広く周知に努めること。 【土地区画整理事業】 1. 新曽第一土地区画整理事業については、当初平成15年度完成予定であり、進捗が大幅に遅れているので、予算や人員を確保し、第一地区・第二地区ともにできるだけ早期の事業完了を目指すこと。 2. 現状や進捗状況が分かるようホームページや広報紙等により定期的な周知に努めること。
	健康福祉常任委員会	ウィズコロナ・ポストコロナ対策について	・複数の関係団体との議会懇談会を踏まえ、執行部へ要望書を提出（令和4年1月）	要望事項は以下の4点 1. 保育・介護・障害福祉等の従事者においては、新型コロナウイルス蔓延による業務量の増加により、もともと懸念されていた人材不足がさらに深刻化していることから、人材育成、業務負担の軽減、及び処遇の改善、特に報酬引き上げへの対応策を講ずること。 2. 国に対し、施設への給付の基礎となる公定価格の見直しを引き続き強く要望すること。 3. 地域活動の再開に向けて、新型コロナウイルス感染症対策の指導や、消毒液等の物品購入に対する補助を検討すること。 4. 介護・障害福祉・保育等の事業所同士で情報の共有ができるようリモート会議を実施するための環境整備の支援を検討すること。
			・新型コロナウイルスにより生じた社会的孤立・分断を世代別に調査し、その成果を執行部へ調査・要望として提出（令和4年1月）	世代別の主な要望事項は以下のとおり ＜こども・学生＞ ・園や学校、公共施設における陽性者発生時のPCR検査・抗原検査の徹底 ・感染不安による不登園・不登校を防ぐための対策を強化 ・SNSやアウトリーチなど相談体制の強化 他6点 ＜現役世代＞ ・妊婦へのワクチン接種、PCR検査、治療の優先 ・可能な限りの経済支援 ・保育環境の維持 ＜高齢者世代＞ ・地域活動へのきっかけづくり・周知啓発 ・ボランティアセンターの啓発促進や人材マッチング支援 ・現在実施の単身高齢者等の見守り支援の検証と拡充 他6点 ＜ひきこもり＞ ・担当部署や相談窓口の明確化・周知 ・ひきこもりの実態把握 ・市町村プラットフォーム設置のため、関係団体との連携を推進 他6点

資料7

区分	委員会名	年間活動テーマ	年間活動成果	概要
政策立案・政策提言	市民生活常任委員会	コロナ禍における市民活動の在り方について	・執行部や戸田市ボランティア・市民活動支援センターから説明を受けるとともに、市民活動団体との議会懇談会での意見を踏まえ、「コロナ禍における市民活動団体に対する支援を求める要望書」を執行部へ提出（令和3年11月）	要望事項は以下の7点 1. コロナ禍により、参加者が減少したため、市民活動団体を知ってもらう機会（例：ホームページでの動画配信、庁舎2階ロビーでの写真展開催等）を設けること。 2. 市民活動団体向けに感染症対策講習を実施すること。 3. 感染症対策認証制度の導入を検討するとともに、認証マークや感染対策グッズ（非接触体温計等）の提供についても検討すること。 4. 感染症対策について、各団体が情報共有できる支援体制を強化すること。 5. 活動場所として施設を利用する際の支援をすること。 6. 市及びボランティア・市民活動支援センターと市民活動団体との懇談の機会を継続して設けること。 7. コロナ収束後も市民活動を活性化させるための補助金について、さらに使いやすくなるよう検討すること。
		戸田市スポーツセンターの在り方について	・執行部からの説明や行政視察（中野区・キリンレモンスポーツセンター及び川口市・川口市立高等学校体育施設）からでた意見を踏まえ、「戸田市スポーツセンターの建て替えを含めた再検討を求める意見書」を執行部へ提出（令和4年1月）	意見事項は以下の3点 1. 工事延期の期間に、現在の長寿命化による改修案のみならず、建て替え案についても十分に検討すること。 2. 1の検討に当たっては、施設のコンセプト（スポーツだけではなく健康づくり、地域コミュニティー、介護予防等）、機能面（防災機能、福祉機能）、コスト面、敷地面積との兼ね合い等により検討すること。 3. 戸田市スポーツセンター固有の問題として、駐車場、周辺施設との連携についても視野に入れ検討すること。
議会改革	議会改革特別委員会	議会基本条例の見直しについて	社会情勢の変化等を踏まえ、現行の議会基本条例を検証し見直した結果、本条例の改正を行った。	・他議会の調査、法制執務担当課の確認及びパブリックコメントの実施などを踏まえ、委員会で協議を重ね、以下の5点を改正。 1. 本条例中「政策立案」又は「政策提言」となっている表現を、「政策立案及び政策提言」と統一した。 2. 災害時の対応について、戸田市議会災害対策支援本部を設置し、迅速かつ適切に行動することの規定を追加した。 3. 議会及び議員の政策立案及び政策提言についてより充実した支援ができるよう、議会事務局からも議会に対し提案ができる旨の規定を追加した。 4. 本市議会では、既にタブレット端末を積極的に活用している現状に即して、今後も情報通信技術の積極的活用を図ることを定めた規定を追加した。 5. これまでの議会事務局の体制整備に加え、議員研修の充実や情報通信技術の積極的活用、事務局職員からの議会に対する提案により、さらに充実した支援ができるよう、「議会機能の充実強化」という枠組みに改めた。
		予算決算委員会について	当面、予算及び決算の審査については、これまでどおりとすることと決定した。	・以下の2点で、本市議会には馴染まないと判断し、従前どおりとすることとした。 1. 他議会の委員会開催状況は、予算決算委員会に付託するが、常任委員会を予算決算委員会の分科会に衣替えて審査しており、開催日も3常任委員会であれば1日1常任委員会ずつ3日間開催し、委員長報告も討論と採決結果のみとしている議会が多く見受けられた。 2. 本市議会では、常任委員会に付託する分割付託を採用し、1日4常任委員会同時開催で、4日間開催し、委員以外の議員でも採決する際に判断できるよう報告している。
		会期日程について	一般質問と委員会審査を入れ替えた会期日程案を、令和3年9月及び12月、また、令和4年3月定例会において試行することとした。	・一般質問と委員会議案審査の日程を入れ替えることについて、以下4点のメリットが挙げられることから、試行することとした。 1. 議案等事前説明会から委員会審査までの流れが自然になり、議会運営の円滑化が図れる 2. 災害が発生した場合に備えて、優先して議案審査をすることは議決機関としての趣旨にも合致する 3. 一般質問通告の受付締切から質問当日までの期間が延びることで、従前よりも執行部との調整が行いやすくなるとともに、執行部側も答弁作成やそれにかかる調査に時間を費やすことが可能となり、一般質問の質の向上が期待される 4. 会期日程を精査したことにより、各定例会の会期を平均4日程度短縮できることになり、その他議会活動などの時間に充てることも可能なる
		オンライン会議について	委員会の開催方法の特例として、災害の発生等により、委員長が委員を招集することが困難であるときには、オンライン委員会を開くことができるよう、委員会条例を改正した。	・昨年10月に、オンライン委員会を試行したが、今後、正式にオンライン委員会を開催できるよう、技術的な部分だけではなく、条例等の整備に向けて協議を重ね、今回、委員会条例の改正に至った。改正の概要は次の2点。 1. 委員会の開催方法の特例として、災害の発生等により、委員長が委員を招集することが困難であるときには、オンライン委員会を開くこととし、その場合において出席を希望する委員は、委員長の許可を得なければならないとする。 2. 委員会の取り扱いとして、オンライン委員会は秘密会とすることができない。
		議員駐車場について	庁舎東側の議員駐車場における一部修繕の依頼文を執行部に提出した。	・当該駐車スペースについて、市民から問合せを受けたことから、運用方法などを再確認するとともに、問題点として、区画内のラインがオレンジ色及び白色で表示され、色が統一されていないことから、平常時においても一部議員専用の駐車スペースとして誤解されやすいことや、当該駐車スペースの市民への解放時刻が表示されていないため、終日議員駐車場として確保されているように見えることが挙げられ、協議を行い、以下の2点を執行部に依頼。 1. 当該区画の北側1列のみがオレンジ色で表示されている箇所を、他区画と同様、白色に塗り替えること。 2. 当該駐車スペースの表示看板に、各種会議の開会後は市民に解放する旨も併せて明記すること。

【2日目】7月25日（火）茨城県取手市



3. オンライン委員会について

オンライン委員会導入の経緯	令和元年からタブレット導入の検討を進めるなかで、令和2年4月の緊急事態宣言後の市議会感染症対策会議をオンラインで開催したことが発端となり、同年7月のデモテック戦略協定締結に至った。
官民学連携①	デモテック戦略協定 令和2年7月締結 「新しい民主主義の手法を構築するチャレンジ連携に関する協定」
官民学連携②	音声テック協定 令和3年4月締結 「議場内中継配信機材の提供と本会議・委員会発言内容のリアルタイム字幕表示機能等」
オンラインによる開催状況と成果	令和2年7月のデモテック戦略協定締結後、翌8月にタブレットを購入し、同年11月にタブレットを用いたオンライン委員会を開催、12月にSidebooksの表決システムにて本会議表決、令和3年6月にはオンライン委員会においてオンライン表決に至っている。 オンラインによる委員会は、令和2年に6回、令和3年に38回、令和4年に17回開催されているほか、各種会議、現地調査、中学生との協同作業、市民との意見交換会等のコロナ禍における様々な会議がオンラインで開催されていた。
音声技術の活用状況	AI音声認識技術により、議場中継がリアルタイムで字幕表示されるとともに会議録速報版が作成され、またスピーディーに会議録が作成されていた。

*詳細は添付資料参照

4. 議会における住民参画

委員会における傍聴人等の発言実績と成果	委員会での傍聴人の発言は、令和元年以降4回あり。 直近では、令和4年の1月の議会運営委員会で、障害者団体の方からの発言。 「階段があるこの建物での傍聴は不便であり、インターネット中継の固定カメラでは見たいところが見えない。この状況は傍聴と呼べない」とのご意見があり、自分で画面を動かすことのでき 360 度カメラの導入に至ったという経緯があった。」との報告を受けた。
議会への住民参画の取り組みと実績①	市民との意見交換会 ※平成 30 年度より、報告会ではなく市民との対話を重視した「意見交換会」として実施。 ※令和4年11月開催 25 名参加、令和5年5月開催 41 名参加。 オンラインを活用して、複数会場で同時に進行により、会場が違っても情報共有が行えていた。参加した市民からは「家にいても手軽に参加できる」「オンラインだからこそ参加できた」と高評価であった。
議会への住民参画の取り組みと実績②	中学生との協働作業 ※オンライン併用したハイブリッド開催。 ※令和4年度は2校で開催 ①前半：各クラスで議員に相談しながら提案（議案）を作成し、選挙によりクラス代表を決定。 ②後半：クラス代表は議場に集まり、各教室とオンラインで中継を結び、議場で議案説明、議案質疑、採決をして、可決した議案は議長に提出 中学生との協同事業により、議会議員に対するイメージが、身近な存在となり議会に興味がわく生徒も多かった。
議会への住民参画の取り組みと実績③	市民リライター ※新たな議会への関心、住民参加型の新しい議会の形を目的に導入されています。 本会議、委員会にて音声認識システムにより作成された文書の文字変換内容を、音声を確認しながら誤りを修正する「リライト作業」を市民が実施（オンラインによる）。
議会への住民参画の取り組みと実績④	来て！見て！知って！取手市議会 議会の動き、議会の仕組み、議会の決定内容など、市内在住・在勤・在学の方から希望があった場合に伝える事業。

* 詳細は添付資料参照

【 考 察 】

議員の担い手不足の面からのオンライン議会の可能性は大きいと感じたと共に、大変参考になった。

実際に公式な委員会やその他、非公式な会議まで含んで年に 50 回の開催している。タブレットの活用は、オンライン視察(現地に行かずも現場把握)、広報広聴(相手の都合に合わせやすい)、災害対応(災害時は地元に残りつつ、議会・議員活動)、研修(オンライン研修は効率的)、ペーパーレス(年 18 万枚減、職員時間外大幅減)と示唆に富んだ内容だった。

これを瑞浪市議会の現状と重ね合わせてみると、まず議会改革の位置づけを議会の最重要課題とするのかどうかの議会の覚悟が必要である。その年度の議長諮問や議会改革特別委員会の判断により、ある程度の改革は行われるが継続性がないように感じる。本来は、4 年間の継続性が必要(更に長い継続性も)である。

これが出来るかどうか「議会改革」の成功のカギを握っている。さらに感じたのは、自治体規模の関係もあり困難なこともあるが、事務局の I C T 関連強化の必要性が急務である。これが出来ないと、タブレット端末の維持すらできないのが現実で、オンライン委員会の開催についても実現が非常に厳しいと言わざるを得ない。

オンライン会議の回数実績	
・ オンライン委員会	令和2年6回・令和3年38回・令和4年17回 令和5年(本日時点)1回 3つの常任委員会・2つの特別委員会・ 議会運営委員会
・ オンライン会議	令和2年40回・令和3年55回・令和4年41回 令和5年(本日時点)5回 委員会・感染症対策会議・地域調査・研修会・ オンラインによる視察受入・中・学生との協働事業・ 提出予定議案の事前説明・市民との意見交換会 など

タブレット端末の活用手法	
1. 電子書籍ソフトウェアを活用したペーパーレス化	(当市議会：SideBooks クラウド書籍機能を使用)
2. タブレットとソフトウェアによる 表決システムでの表決	(当市議会：SideBooks のオプション機能を使用)
3. オンライン会議ソフトウェアを活用した オンライン会議	(当市議会：zoomを使用)
4. LINEを活用した情報共有・情報交換	



ようこそ取手市へ！

令和5年7月25日

岐阜県 瑞浪市議会 議会運営委員会 視察研修

「♡議会愛♡」

本日はよろしくお願いいたします
茨城県取手市議会 関係者一同

本日のキーワード

1. オンライン会議
2. 議会における住民参画

事前に頂いたご質問

- ・ 委員会及び本会議(模擬)のオンラインによる開催状況と成果
- ・ オンライン開催に伴う例規や申し合わせの整備
- ・ 本会議や委員会での音声認識技術の活用

- ・ 委員会での傍聴人等の発言実績と成果
- ・ 議会への住民参画の取組と実績

議会事務局様にもお尋ねしました

- ・ オンライン会議をやったことがなく、課題であり、今回視察の主要項目と感じている。
- ・ 瑞浪市議会には議長諮問制度があり、今年の議長から議会運営委員会への諮問が次の2つ。
 1. 委員会のオンライン開催について
 2. 議会モニター制度について
- ・ 諮問に対しては委員会で調査の上、年末に議長に答申することとなる。

瑞浪市議会議長様からの諮問事項

オンラインによる委員会の出席を可能とすることは、新型コロナウイルスを含めた感染症のまん延のほか、大規模災害の発生、育児や介護などを理由として出席できなかった議員が委員会への出席を可能とすることができるメリットがある。

また、多様な働き方の中で、議員のなり手不足の解消の一助となり得る。

これらのことから、委員会のオンライン開催について必要事項の検討をされたい。

時系列で新型コロナと振り返ると

令和元年度 タブレット検討(議運委)

令和2年1月 新型コロナ日本国内初感染者

令和2年2月 横浜港での大型クルーズ船検疫

令和2年4月7日 初めての緊急事態宣言

令和2年4月8日 取手市議会災害対策会議(zoom)

(現在:市議会感染症対策会議)

令和2年6月 議会運営が大幅に変則的に

令和2年7月 (通称)デモテック戦略協定締結

令和2年8月 取手市議会タブレット導入

令和2年11月 タブレットを用いてオンライン委員会を開催

令和2年12月 SideBooks表決システムで本会議表決

令和3年6月 オンライン委員会においてオンライン表決

取手市議会での官民学連携①

デモテック戦略協定
(令和2年7月締結)

早稲田大学
一般社団法人地域経営推進センター
東京インタープレイ株式会社
取手市議会・取手市議会事務局

Democracy(民主主義)
×
Technology(技術) = DemoTech(デモテック)

「新しい民主主義の手法を構築する
チャレンジ連携に関する協定」

- ・ オンライン会議導入の課題抽出・解決策確立
- ・ 関係法令等の課題抽出と改正案の策定
- ・ デモテック会議での情報共有・調査研究

取手市議会での官民学連携②

音声テック協定
(令和3年4月締結)

株式会社アドバンスト・メディア
取手市
取手市議会

- ・ 議場内での議会中継配信機材の提供
- ・ 本会議・委員会発言内容のリアルタイム字幕表示機能の検証
- ・ 文字データ要約関連機能の検証
- ・ 行政事務の市民対応履歴自動テキスト化の検証

タブレット端末の活用手法

1. 電子書棚ソフトウェアを活用したペーパーレス化
(当市議会：SideBooks クラウド書棚機能を使用)
2. タブレットとソフトウェアによる
表決システムでの表決
(当市議会：SideBooks のオプション機能を使用)
3. オンライン会議ソフトウェアを活用した
オンライン会議
(当市議会：zoomを使用)
4. LINEを活用した情報共有・情報交換

オンライン会議での活用

議会内の各種会議

- ・ 委員会(常任委員会・特別委員会・議会運営委員会)
- ・ 会派代表者会議・災害対策会議・感染症対策会議・
市民との意見交換会ワーキングチーム会議など多種

内部会議から外へ

- ・ オンライン現地視察

執行機関や市民との間でも

- ・ 提出予定議案のオンライン事前説明
- ・ 市民との意見交換会

今後の展開

令和5年6月制度整備済
(議会会議規則の改正)

本会議において
欠席議員による
オンラインでの「質問」も
制度上今後は想定

オンライン会議の回数実績

・ オンライン委員会

令和2年6回・令和3年38回・令和4年17回

令和5年(本日時点)1回

3つの常任委員会・2つの特別委員会・
議会運営委員会

・ オンライン会議

令和2年40回・令和3年55回・令和4年41回

令和5年(本日時点)5回

委員会・感染症対策会議・現地調査・研修会・
オンラインによる視察受入・中学生との協働事業・
提出予定議案の事前説明・市民との意見交換会 など

オンライン委員会（通常配信・ライブ）



令和4年6月15日 福祉厚生常任委員会（通常配信）

取手市議会公式チャンネル
チャンネル登録者数 518人

チャンネル登録

（動画をご覧ください）

オンライン委員会（360度カメラ）



令和4年6月15日 福祉厚生委員会【360度カメラ】



取手市議会公式チャンネル
チャンネル登録者数 518人

チャンネル登録

（動画をご覧ください）
導入の経緯は右の二次元バーコードから →



オンライン委員会での現地視察



令和2年12月8日一般会計決算・予算特別委員会（オンライン）



取手市議会公式チャンネル
チャンネル登録者数 519人

チャンネル登録

（動画をご覧ください）

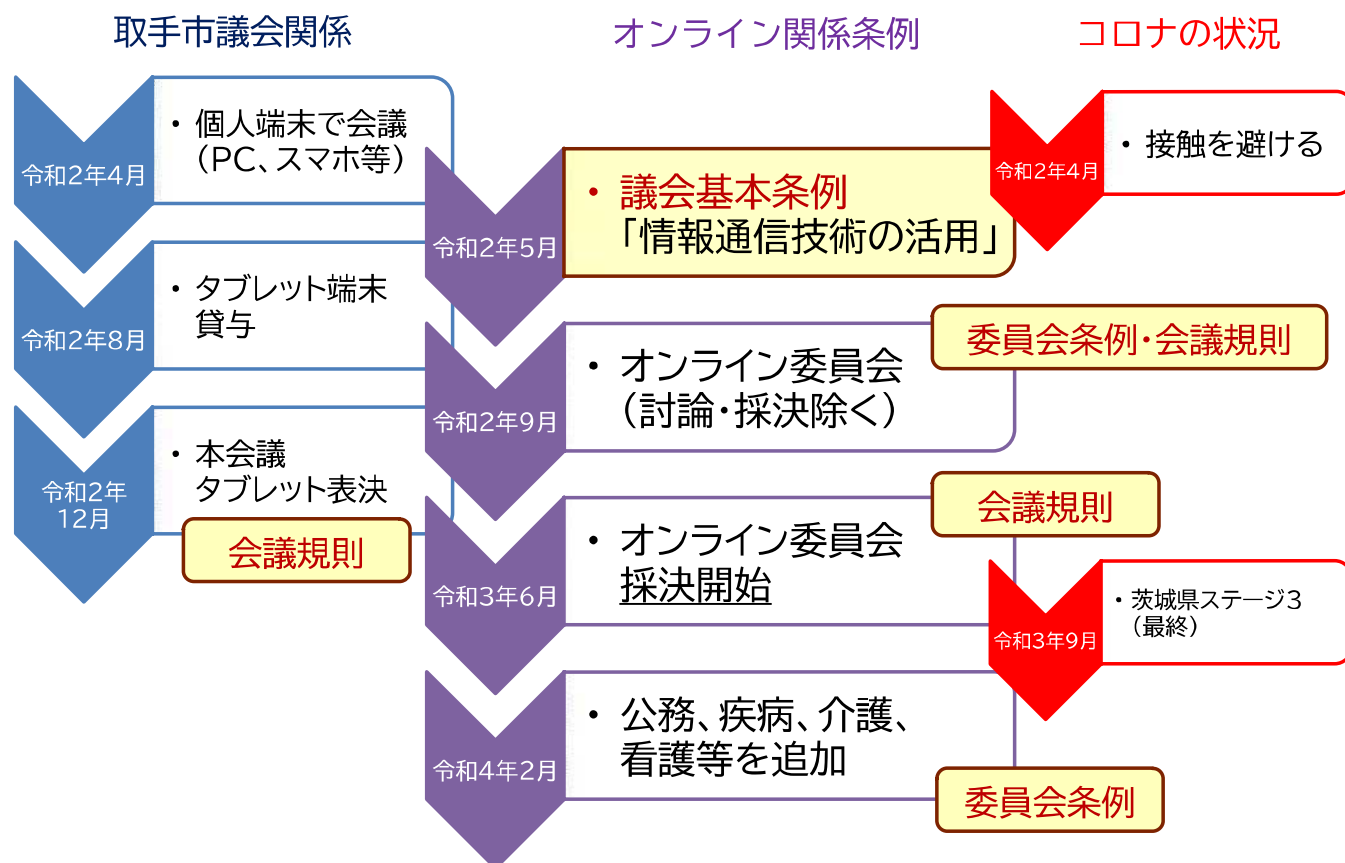
オンライン委員会と傍聴

- 「オンラインのみ」というのは現時点では想定せず
（少なくとも正・副委員長のいずれかは委員会室から）
 1. 傍聴者の取扱いの課題
 2. 委員会の議事進行上の課題（通信途絶時の対応など）
- 傍聴・視聴希望の方は次の方法のいずれかを選択
 1. 通常どおり委員会室での傍聴（委員会室で）
 2. YouTubeライブ配信の視聴（自宅などから）
 3. YouTube360度カメラ配信の視聴（自宅などから）

オンライン会議の課題

1. 特に新人議員の一番最初の会議対応
2. 急きょオンライン申出があった場合の事務局対応
取手市の委員会の場合、開会の1時間前までに事前に
連絡義務（議会運営委員会申し合わせ）
→ 準備に追われます(ですが間に合います)
3. 現時点では整理が難しい会議もあると感じます
秘密会（セキュリティや秘匿性の確保）
記名式の選挙
（特に連記式や議員以外の氏名を記載するもの）
→ 全体からみて、この比率はかなり小さいのでは？

オンライン会議の関連例規



提出予定議案オンライン説明



(動画をご覧ください)

ICT技術を活用した取り組み

- AI技術の活用 “音声(発語)をすぐ文字へ”
リアルタイムAI字幕表示
会議と同時進行での音声校正
→ スピーディーな会議録速報版の作成と活用
- 会議録視覚化システム “視覚に訴える”情報提供
- デジタル媒体を柱に据えた議会情報の提供
SNS（ Facebook・YouTube ）の積極活用
補完措置としての紙媒体の併用
- AI・GPT機能を活用した要約処理

AI音声認識リアルタイム字幕配信



デジタルとアナログ(リアル)

- デジタルの利点とアナログ(リアル)の利点
- 「**選択肢**」としてのデジタル
デジタルとアナログは『どちらかでなければならない』という相対立する関係なのではないでしょうか。
- デジタルとアナログ(リアル)
私たちにとっての選択肢(使える手札・カード)が増えることによって、多様な選択が生まれてくる社会の実現(議会に限られた論点でもないように感じます。)

※ 災害時や感染症の蔓延時などの際、「議会を止めない」ための急性期の対応としては、非常に有効な手法だと思います。活用する、あるいは選択肢として持っているだけでも、よりスムーズに回ると感じています。

頂いたご質問を振り返ります

- 委員会及び本会議(模擬)のオンラインによる開催状況と成果
- オンライン開催に伴う例規や申し合わせの整備
- 本会議や委員会での音声認識技術の活用

ここまでのオンライン会議に関する内容で追加のご質問がありましたらお受けします

取手市議会における住民参画事業

- ① 市民との意見交換会
- ② 中学生との協働事業
- ③ 市民リライター
- ④ 来て！見て！知って！取手市議会

① 市民との意見交換会

平成30年度より、これまでの報告会ではなく、
対話を重視した「意見交換会」として実施。

【特徴】

- オンラインの活用（Zoom、タブレット）
- 複数会場での同時進行（3会場＋オンライン）

オンライン併用 市民との意見交換

取手庁舎 議場・大会議室
(議員8名が2部屋で)

藤代公民館
(議員4名)

令和5年5月13日(土)

第1部

フリーテーマ

第2部

「投票率向上のため
議会・議員に期待すること」

市内3会場

+ オンライン

※ 議員24名は各所に分散

会場参加:33名

オンライン参加:8名

市外からも参加あり

各会場ごとに意見交換
(車座方式)

戸頭公民館
(議員4名)

オンライン(自宅などから)
(議員8名が3ルームに分かれて)

オンライン併用 市民との意見交換

取手庁舎 議場・大会議室

市内公民館

オンラインで
全会場を接続



会場が違ってても、
情報の共有が
できる

各会場で意見交換した
内容の集約と共有

オンライン

市内公民館

議員・議会事務局の経験の積み重ね
～ 災害時の活用・応用の素地にも ～

効果(市民との意見交換会)

参加者の高評価:80%

- ・ フリートークになり話したいことが話せた
- ・ 参加された方の意見や、議員の考え方を聞くことができた
- ・ 日頃考えていることが共有できとても満足しました。
また参加して取手市が良くなっていったらうれしいです。

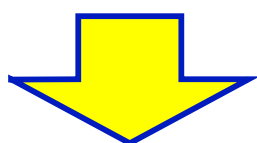
オンライン併用型の高評価:79%

- ・ 仕事で移動できなかったからとても良かった
- ・ オンラインだったからこそ参加できた(すぐには行けない距離だった)
- ・ オンラインでも自分の考えを直接市議会議員に届けることができた
- ・ 家でも手軽に参加できて、参加人数が増えると思う
- ・ より多くの人(障がい者や交通難民など)に参加機会があってありがたい

② 中学生との協働事業

【目的】

- ・ 議会や行政を身近に感じてもらい、関心を高める。
- ・ 投票率の向上や将来的な被選挙権行使への理解を深める。
- ・ 若い世代からの柔軟な提案事項から市政や市議会の改善改革につなげる公聴機能充実のため。



平成28年度から実施

中学生との協働事業の内容

前半・後半の2部制で実施。

オンライン(ZoomやYouTube)を併用した
ハイブリッド開催

【前半】 会場：教室	【後半】 会場：議場 + 教室
・各教室に議員3名+職員1名で訪問 ・各教室で10名程度のグループ(会派)にわかれて、「住みよい取手をつくるため」の提案(議案)を作成 ・議員が各グループを回りアドバイス。zoom参加議員も、画面越しに相談を受ける。 ・できあがった提案(議案)をグループ(会派)ごとに発表 ・投票で代表を決定	・代表となったグループ(会派)が生徒議員として議場に来る。 ・議場の様子は、YouTubeを使い限定配信し、教室の生徒も視聴する。 ・議場で、議案の説明 ・質疑を実施。 ・採決前に、議場の生徒は議員と相談し、教室の生徒はクラス内で、賛否の相談 ・採決をし、可決した議案は議長に提出。

前半



後半



YouTubeで議場の様子を視聴



議場の様子を字幕で表示



採決



採決の結果は
教室でも視聴



可決議案を議長に提出

中学生との協働事業(実施後)

- 可決された提案(議案)を各常任委員会で調査を実施
- 委員会での調査の様子は、中学校でも後日授業の一環でYouTubeで視聴していただく。
- 最終的には3月議会で調査結果の報告

効果(中学生との協働事業)

○議会や議員に対するイメージは？

(事前)

1. 遠い存在……58
2. わからない ……57
3. 興味ない……42
4. つまらなそう……31
5. 良い……16
6. 身近な存在……16



(事後)

1. おもしろかった ……80
2. とてもよい ……65
3. 明るい ……61
4. 身近な存在……45
5. 興味がわいた……44
6. 良い……37

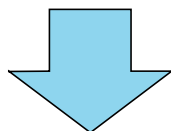
③ 市民ライター

【目的】

- 新たな議会への関心
- 住民参加型の新しい議会の形

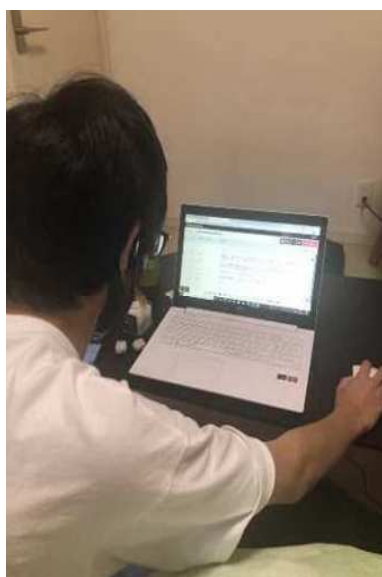
取手市議会では、議事録は、外注せずに、「AmiVoice」という音声認識システムを使用し、議事録を作成しています。

会議進行と同時に、音声認識システムが事務局内のパソコンを通して、発言内容を文字化しますので、事務局職員が同時にその内容を聞きながら、誤りの修正を行います。



令和3年8月

その作業の一部を、Zoomを活用し、市内高校生や、市内在住・在勤等の11名に、「市民ライター」として、ご自宅等から行っていただきました。



イメージ図

会議室

会議と同時進行で、
認識した音声
が文字化



マイクを通して
発言

事務局のPCに文字化された
発言内容が表示



リライト作業

同時進行で、誤認識された文書の
修正作業「リライト」を実施しています

表示された文字に誤りが無いか？
音声聞いて、修正作業を実施

オンラインを活用して、
リライト作業を実施していただきました

編集内容の書き出し VDocに変換 検索と置換 次を検索 話者名の編集 話者名リストの管理 音声再生デバイスの設定 再生・停止 連続再生・停止 遅くする 標準 速くする ループ再生 編集結果の確定 編集結果のクリア

@20230615令和5年第2回定例会_20230615095742 x

リライト作業

音声から文字に変換された内容を、音声を確認しながら、誤りが無いか確認し、誤りがあれば修正します。

from: 10:20:13, to: 10:20:25, length: 00:00:11

【まちづくり振興部長 野口 昇君登壇】
〇まちづくり振興部長（野口 昇君）お答えいたします。今、省エネ家電どんなものが省エネ家電ということで一判明というか—どういう基準かということになると思うんですが、省エネ家電については

【次の「発言」】販売店において省エネルギー、緑色の省エネ性能の表示が記載されていると思います。その...

開始時間 / 認識結果	編集結果	編集者
10:19:49 聞かせていただ...	聞かせていただけたらと思います。	1520(J190..
10:19:53 答弁を求めます...	〇議長（金澤克仁君） 答弁を求めます。まちづくり振興部...	1520(J190..
10:20:13 お答えいたしま...	【まちづくり振興部長 野口 昇君登壇】〇まちづくり振興...	1520(J190..
10:20:25 販売店において...		
10:20:36 何%と表示があ...		

④ 来て！見て！知って！ 取手市議会

【内容】

議会の動き、議会で決定したこと、議会の仕組みを希望のあった市内在住・在勤・在学の方にお伝えする事業

- ・ HPで募集しており、希望があった場合に開催。
- ・ 過去の実績としては、地区の婦人学級の皆さんや、小学2年生の児童を対象にして実施。

事前に頂いた質問事項(住民参画)

1. 委員会における傍聴人等の発言実績と成果

傍聴人の発言・・・令和に入ってから4回

【最近の実績】

- ・ 令和元年12月10日(建設経済常任委員会)
- ・ 令和2年9月23日(デモテック戦略特別委員会)
- ・ 令和2年11月11日(議会運営委員会)
- ・ 令和4年1月25日(議会運営委員会)

事前に頂いた質問事項(住民参画)

2. 議会への住民参画の取り組みと実績

【令和4年度実績】

- ・ 市民との意見交換会

2回開催 R4年11月 25名(うちOL参加6名)

R5年 5月 41名(うちOL参加8名)

- ・ 中学生との協働事業

2校で開催 永山中学校(1日) 3クラス

藤代南中学校(2日間)4クラス

頂いたご質問を振り返ります

- ・ 委員会での傍聴人等の発言実績と成果
- ・ 議会への住民参画の取組と実績

これまでの内容も含めて

追加のご質問がありましたらお受けします

感謝

「議会愛」

本日は、本当にありがとうございました。

茨城県取手市議会 関係者一同

ご希望がありましたら、この後、当市議会議場内や
議事堂入口での記念撮影もご案内いたします。

令和 5 年 8 月 3 日（木）

第 11 回 議会運営委員会

「視察にかかる議員間討議」

～戸田市議会、取手市議会を視察して～

8 月 3 日（木） 議会運営委員会「視察にかかる議員間討議」より

【7月24日 埼玉県戸田市】

1. 議会モニター制度について

- ①議会モニターの選出方法と意見交換の実施状況
- ②モニター意見への対応状況や成果

■委員会での意見のまとめ

戸田市議会モニター制度は、大前提として人が集まらない議会報告会の代わりとして導入されていました。任期1年の議会モニターは15人を定員としており、無報酬でも公募により毎年5名程度の応募がある状況でした。しかし、定数を満たすことがなく「議会をよりよいものにする」「意見聴取により、市議会の円滑かつ民主的な運営を推進する」といった本来の趣旨から逸脱して、市政に関する御意見が多いことが課題としてあがりました。また、議会モニターから立候補しても議員へなろうとした方はいないという現状を確認しました。瑞浪市で議会モニター制度を設けた場合、戸田市と同様に「議会をより良いものにする」といった目的から離れた意見が出されることが想定されます。また、モニター制度の導入により、議員のなり手不足解消には繋がらないのではないかと議論が行われました。

しかしながら、長期的な視野で考えると、20、30代のモニターの方がモニター経験をもとに議員になる可能性もあるため、今後も継続して議会モニター制度の導入について検討が必要であるとの考えもありました。

2. 委員会活動について

- ①委員会での年間活動テーマの設定と実施状況
- ②委員会が実施する懇談会の実施状況と成果
- ③委員会の政策提言の提出状況と成果

■委員会での意見のまとめ

戸田市議会は、各委員会で年間活動テーマを作成し、毎月最低1回は委員会を開催し、テーマの調査研究、視察と検証を行い、1年の集大成として政策提言書、政策立案を執行部へ提出しています。しかしながら、執行部側からの答弁はなく議会で追跡しているため、活動としては不十分に感じました。

戸田市議会は複数年に渡る委員会の任期のためその間同じテーマでも活動できるが、本市議会は1年で委員会構成が変わるため必ず1年で結果をまとめる必要があります。

また、議長諮問の各テーマに対して、委員長がその年度以降の課題を把握しながら毎月委員会を開催して調査、研究をおこない、一般質問での委員会質問や、委員会からの政策提言につなぐことが出来れば、戸田市以上に良い委員会活動になるという考えもありました。

【7月25日 茨城県取手市】

3. デモテック戦略について

- ①委員会及び本会議(模擬)のオンラインによる開催状況と成果

②オンライン開催に伴う条例や会議規則の改正、規程や申し合わせ事項の整備状況

③本会議や委員会における音声認識技術の活用状況

■委員会での意見のまとめ

取手市議会が導入しているデモテックとは、デモクラシーとテクノロジーの略語であり、ICT 技術を活かしタブレットとソフトウェアを利用した本会議と委員会が開催されていきました。新人議員の会議対応や、急遽オンライン委員会に切り変わった時の事務局の対応、オンラインにそぐわない会議の整理等が課題として挙げられました。

委員会のオンライン開催は、災害時や感染症蔓延時など急性期の議会開催の手法であることが大前提となっており、本市議会においても導入しているタブレットを利用したオンライン委員会の開催に、有効な手段となります。しかしながら、平成 30 年タブレット導入から 5 年経過したものの本市議会の ICT 化は進んでいない状況であり、今後の利用について検討する時期が来ていると感じます。

また取手市議会は、アミボイスと言われる音声文字変換 AI ソフトを利用して、全ての委員会及び本会議の映像配信画面にほぼ同時に文字起こしを行っており、参考にしたいとの意見がありました。その反面、議会広報誌が非常に簡素なものになっており、疑問を感じるという意見もありました。

議会の ICT 化を進めるのであれば、まずは、議案集、議案資料など会議における資料のペーパーレス化をどこまで進めるのかが検討課題であると考えています。

4. 議会における住民参画について

①委員会における傍聴人等の発言実績と成果

②議会への住民参画の取り組みと実績

■委員会での意見のまとめ

取手市議会における住民参画では、「市民との意見交換」への参加者の 80%が満足と高評価でありました。現地会場と議場、オンライン参加者とオンラインで結びハイブリッド開催をおこなっており、交通手段や環境を気にすることなく、また市外にいても参加ができるため高く評価されているように感じました。

「中学生との共同事業」に関しては、二部制に分け前半に学校に訪問して模擬的に議長投票を実施し、後半は議場でプレ議会を開催するなど、主権者教育としても非常に良い取り組みとの意見がありました。本市でも取り入れるべきものであると感じました。

瑞浪市議会も過去に高校生、中学生との意見交換会を実施しています。前教育長、学校教育課も実施を望まれているため、議会への住民参画への取り組みとして継続的に実施できる体制整備が必要であると考えます。